



あどぼの学校第11回講座

(特非) 泉京・垂井

あどぼ(アドボカシー)の学校 ～環境政策提言力向上から 環境政策実現力へ～

一般助成

2年目

知識の提供・
普及啓発

「あどぼの学校」
シンポジウム参加者 26人

「あどぼの学校
なごや」参加者

120回

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課 題

住民・NGO・NPOの間でも、環境政策などの公共政策立案の主体は自分たち自身であるという自覚に乏しく、そのことが環境政策への理解や支持を十分に得られていないこと。

活動内容

- 名古屋市内の各団体との協働による「あどぼの学校なごや」及び「あどぼカフェ」実施によるアドボカシー担い手育成事業の実施。
- 関西圏の各団体との協働による「あどぼの学校」及び「あどぼの放課後」実施による担い手育成事業の実施。
- 同志社大学でのプロジェクト科目採択に向けた「あどぼの学校」普及活動。
- アドボカシーの普及啓発を目的としたワークショップ・プログラムの開発。



あどぼの学校なごや
第6回講座(合宿)

今後の課題

- あどぼの学校受講者の対象者の精査。
- あどぼの学校の教材活用先として教育機関への折衝、関係者との連携。
- 京都、名古屋、岐阜におけるアドボカシーの知見の共有、つながりづくり。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・昨年の兵庫、熊本に次いで、新たに九州にてあどぼの学校開校の声が上がったこと。
- ・1年目受講者から4名が京都のスタッフとなったこと。
- ・1年目受講者が実際にアドボカシー活動に取り組み成功したこと。

工夫

各団体との連携・協働による運営委員会の組織、また様々なセクターへの動きかけのための大学との連携。